

第3学年社会科学学習指導案

指導者 新井 麻理矢
R6研修センター長期研修

1 単元名 火事からくらしを守る

2 本単元の目標

火事からくらしを守るための活動について、消防署などの施設・設備などの配置、緊急時への備えや対応などに着目して、見学・調査したり資料で調べたりしてまとめ、消防署などの関係諸機関や地域の人々の相互の関連や従事する人々の働きを考え、表現することを通して、消防署などの関係機関は、地域の安全を守るために、相互に連携して緊急時に対処する体制をとっていることや、関係機関が地域の人々と協力して火災の防止に努めていることを理解できるようにするとともに、自分も地域のためにできることを選択・判断し、地域社会の一員としてよりよい社会を考え学習したことを生活に生かそうとする態度を養う。

3 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①消防施設・消防設備などの配置、緊急時の備えや対応について、消防署などの関係機関や関連する施設を見学・調査したり資料で調べたりして必要な情報を集め、読み取り、関係機関や地域の人々の諸活動を理解している。 ②調べたことを図や文などにまとめ、消防署などの関係機関は、地域の安全を守るために、相互に連携して緊急時に対処する体制をとっていることや、関係機関が地域の人々と協力して火災の防止に努めていることを理解している。	①消防施設・消防設備などの配置、緊急時への備えや対応などに着目して、問いを見だし、関係機関や地域の人々の諸活動について考え表現している。 ②連携・協力している関係機関の働きを関連付けて、地域や自分自身の安全を守るために自分たちにできることなどを考えて選択・判断している。	①火災から地域の安全を守る働きについて仮説や学習計画を立て、学習を振り返ったり吟味したりして、学習問題を追究し、解決しようとしている。 ②火災からくらしを守るために、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとしている。

4 単元について

(1) 教材観

本単元は、解説の内容(3)地域の安全を守る働きのうちの、火災から人々の安全を守るための働きに関する小単元である。また、内容の取扱いの中で、小学校第3学年の学習内容では、唯一「選択・判断」が示されている。児童が、自分たちに協力できることを考え「社会への関わり方を選択・判断する」ことができるように、関係機関が地域の安全を守るために相互に連携していることや、関係機関や地域の人々が暮らしを守るための働きをしていることを自分事として理解できるようにしていく。

(2) 児童観

本学級の児童を対象とした、スーパーマーケット見学後に行った実態調査(令和6年*月*日実施、第3学年*組*人)では、学習したことを生かした生活の変化があるかを問う質問に対し、「食品ロスを減らすために手前取りをする。」など、学習したことに基づく具体的な行動やよりよい社会を考え内容の記述をしたのは、*人であった。その他の児童は、「見学に行ったスーパーで買い

物をする。」など、変化はあったが、学習したことに基づく具体的な行動とは判断できない記述であったり、よりよい社会を考えた内容の記述ではなかったりした。これらのことから、これまで、児童の気付きや疑問から学習問題を作り、問題解決的な学習に取り組めるように指導してきたが、目的や意義を児童自身が深く考えられず、知識の習得だけで終わってしまう傾向が見られ、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うまでには至っていないことが分かった。そこで、児童が地域のために自分にできることを選択・判断し、地域社会の一員としてよりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を育成していきたい。

(3) 指導観

児童が、地域社会の一員としてよりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かすことができるように、火事から暮らしを守るために自分にできることを選択・判断する活動を行う。そのために、自分事として学習に取り組めるように具体的で身近な資料の提示と学習の必要性の共有をする。そして、社会的事象との出会いで児童から生まれた疑問を学習問題に集約し、児童の願いを単元を通して考え続ける問いとして学習問題のサブテーマに設定する。そして、このサブテーマを基に、防災プロジェクトを立ち上げる。防災プロジェクトの作成のために、問題解決的な学習の中で情報を収集・整理し、提案の内容を吟味していく。児童が主体的に、火事から暮らしを守るために自分にできることを選択・判断して、防災プロジェクトを提案できるようにしたい。

5 単元の指導計画（8時間扱い）

○は指導に生かす評価場面、◎は記録に残す評価場面

次	時	学習内容・活動	知	技	思	態	評価及び評価方法等
1 つ か む	1	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の課題を知る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 火事の現場では、どんなことがおきているのだろう。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・実際の消火活動を動画で見る。 ・全国の火災発生件数や那珂市の火災情報を知る。 ・実際の消火活動を見たり、火災情報を聞いたりした感想を共有する。 ・単元を貫く学習問題を作る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; background-color: #e0f0ff;"> 火事からくらしを守るために誰がどのような活動をしているのだろう。 ～火事からくらしを守るために自分ができることは何だろう～ </div> <ul style="list-style-type: none"> ・防災プロジェクトを立ち上げる。 ・単元の学習問題の仮説を立てる。 ・学習計画を立てる。（調べること、調べ方、まとめ方） 					<ul style="list-style-type: none"> ・実際の消火活動の様子を動画で見ることで、自分たちの安全なくらしを支える仕組みや働きについて考え、関心をもたせる。 ・那珂市の火災情報を取り上げることで、より身近な自分事として捉えられるようにする。 知①：資料から必要な情報が読み取れているか見取り、読み取りが不十分な児童には、注目させたいところを静止したり拡大したりして再度提示し、読み取ることができるようにする。 【発表・ワークシート】 <ul style="list-style-type: none"> ・調査内容や方法について児童の言葉を反映し、吟味することで主体的に問題解決的な学習に取り組めるようにする。 ◎ 態①：防災プロジェクトに対して見通しをもって学習計画を立てようとしているか見取り、不十分な児童には、全体で共有することで見通しをもたせる。 【観察・ワークシート】
2 調 べ る	2	<ul style="list-style-type: none"> ・消防署見学のねらいを知る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 消防署では、火事からくらしを守るためにどんなことをしているのだろう。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・消防署を見学して、消防の設備や消防署の人たちの仕事の様子、日頃の備えについて理解する。 					<ul style="list-style-type: none"> ・質問づくりから視点を明確にしておき、消防士の働きや火事への備え、自分たちにも協力できることの情報収集できるようにする。 知①：消防署の働きや緊急時の備えについて、見学して、必要な情報を集めることができているか見取り、記録が十分にできていない児童には消防士の方に追加質

	<ul style="list-style-type: none"> 自分たちにもできる火災予防を教えてください。 消防署から「防災キッズ」に任命される。 本時のまとめをする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 消防署の人たちは、地域の安全を守るために、火事が起きた時にすばやく対応している。また、日頃から訓練をして、備えている。 </div> <ul style="list-style-type: none"> 学習の振り返りをする。 		○	問ができるようにする。 【観察・調査メモ】 態②：火災からくらしを守るためにできる取り組みを消防士の方から助言をもらい、社会生活に生かそうと考えられているか見取り主体的に取り組めていない児童には、友達の質問内容もメモするように声をかける。 【観察・調査メモ】 ・消防署の方と連携して、児童の学習意欲を高めるための「防災キッズ」任命式を行い、防災プロジェクトに対して使命感をもって取り組めるようにする。
3	<ul style="list-style-type: none"> 本時の課題を知る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 火事からくらしを守るために地域の中にはどんな消防施設があるのだろうか。 </div> <ul style="list-style-type: none"> 地域に設置されている消防施設について知る。 地域の消防施設を調べてわかったことを全体で共有する。 児童の発表から、学校内にも消防施設があることを取り上げ、実際に校内の消防施設を探しに行く。 見つけた校内の消防施設を図にまとめる。 地域や学校にある消防設備を調査して、わかったことや自分の生活にどのような関わりがあるか、考えたことを話し合う。 本時のまとめをする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 地域には、様々な消防施設が設置されており、火事などの災害が起きたときのために、避難場所も決められている。 </div> <ul style="list-style-type: none"> 学習の振り返りをする。 	○	○	<ul style="list-style-type: none"> Googleマップのストリートビューを使って自分の通学路にある消防施設を探し、身近な場所に消防施設があることに気付くことができるようにする。 校内のどこに消防施設があるか予想を立ててから、探しに行くようにする。見つけた消防施設は写真で記録できるようにする。 校内の消防施設を図にまとめ、設置の意図に気付けるようにする。 知②：調べたことを図にまとめ、緊急時に対処する体制をとっていることを理解しているか見取り、理解できていない児童には友達と一緒に記録できるように声掛けをする。 【ワークシート】 思①：消防施設・消防設備などの配置、緊急時への備えや対応などに着目して、問いを見いだし、校内の調査活動に取り組むことができたか見取り、できていない児童は全体で見つけた消防施設・消防設備を共有することで、考え表現できるようにする。 【観察・ワークシート】
4	<ul style="list-style-type: none"> 前時の振り返りをする。 本時の課題を知る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 火事からくらしを守るために地域の中ではどんな取り組みをしているのだろうか。 </div> <ul style="list-style-type: none"> 消防団の方の話を聞いて、消防団の取り組みについて知る。 地域の一員として、家庭でもできる取り組みを考える。 	○	○	<ul style="list-style-type: none"> 前時の学習から、地域に消防団の場所があったことを想起させ、消防団の活動に関心をもたせる。 地域の消防団の方に、消防団の働きや役割、努力について話をしただき、消防士との違いが明らかになるようにする。 思②：消防団の話を聞いた上で、地域

		<ul style="list-style-type: none"> ・本時のまとめをする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> 消防団は、地域の人が集まり、消防署と協力しながら火事に備えて訓練したり、防火を呼びかけたりしている。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・学習の振り返りをする。 			や自分自身の安全を守るために自分たちにできることなどを考えられているかを見取り、考えることができていない児童は、グループの友達と相談しながら考えるように声かけをする。 【ワークシート】
3 ま と め る	5	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の課題を知る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> 火事からくらしを守るために誰がどのような活動をしているのだろう。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・119番通報があった時の通信指令室の役割や協力体制を調べる。 ・火事からくらしを守る人々の活動を関係図にまとめる。 ・関係図に今まで調べてきた関係機関の働きについて書き込む。 <p style="text-align: center;">◎</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関係図の中に自分ができる取り組みを書き込む。 ・本時のまとめをする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> 火災が起きた時、指令室を中心にいろいろな機関が協力して、すばやく対応している。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・学習の振り返りをする。 			<ul style="list-style-type: none"> ・火災発生から消火までの仕組みや働きを捉えられるように、関係図にまとめる。 知②：調べたことを図、文にまとめ、消防署などの関係機関は、地域の安全を守るために、相互に連携して緊急時に対処する体制をとっていることや、関係機関が地域の人々と協力して火災の防止に努めていることを理解している。 【ワークシート】 <ul style="list-style-type: none"> ・消防士の活動や自分たちで調べた関係機関の働きを関係図にまとめる活動に取り組むことで、火事からくらしを守るために自分にできることを考えられるようにする。 思②：連携・協力している関係機関の働きを関連付けて、地域や自分自身の安全を守るために自分たちにできることなどを考えられているか見取り、できていない児童はグループの友達の考えを参考に考えられるよう声かけをする。 【観察・ワークシート】
	6	<ul style="list-style-type: none"> ・前時の振り返りをする。 ・本時の課題を知る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> 火事からくらしを守るために地域の一人として、できることをまとめよう。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・学習したことを吟味して、火事から暮らしを守るためにできることを発表ノートに書き出す。 ・発表ノートのメモをグループワークで共有し、思考ツールに整理する。 <ul style="list-style-type: none"> ・学習の振り返りをする。 			<ul style="list-style-type: none"> ・前時までのワークシートを確認し、学習したことを吟味して、自分にできることを整理できるようにする。 思②：連携・協力している関係機関の働きを関連付けて、地域や自分自身の安全を守るために自分たちにできることなどを考えられているか見取り、できていない児童はグループの友達の考えを参考に考えられるよう声かけをする。 【観察・ワークシート】 <ul style="list-style-type: none"> ○ 態①：火災から地域の安全を守る働きについて、学習したことを振り返り吟味して、学習問題を追究し、解決しようとしているか見取り、できていない児童には、友達の考えをグループワークで共

					有してもらい、自分の考えに生かせるようにする。 【観察・発表ノート】
4 い か す	7	<p>目標：自分が地域のためにできることを選択・判断し、地域社会の一員としてよりよい社会を考え、学習したことを生活に生かそうとする態度を養うことができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前時の振り返りをする。 ・本時の課題を知る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>火事からくらしを守るために自分ができることは何だろう。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・自分にできる防災プロジェクトを考える。 <ul style="list-style-type: none"> ・友達との話し合いを通して、自分の提案を吟味する。 ・全体で自分の考えた防災プロジェクトを共有する。 ・本時のまとめをする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>火事からくらしを守るために、自分たちにできることがいっぱいある。消防署やたくさんの機関、地域の人々や自分が協力することが大切である。</p> </div>		◎	<ul style="list-style-type: none"> ・前時までのワークシートを確認し、今までの学習したことを吟味して、自分にできる防災プロジェクトを考えられるようにする。 ・火災予防と暮らしを守ることを結び付けられるように、何のために、誰のために行うのかを全体で話し合える時間を確保する。 ・消防署見学時の記録などを基に、防災プロジェクトに取り組む根拠を説明できるようにする。 <p>思②：連携・協力している関係機関の働きを関連付けて、地域や自分自身の安全を守るために自分たちにできることなどを考えて選択・判断している。</p> <p>【観察・ワークシート】</p>
	8	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の課題を知る。（前時の続き） ・消防署の方に防災プロジェクトについて助言をもらい防災プロジェクトの内容を吟味する。 ・自分が考えた防災プロジェクトを紹介するための資料作りをする。 <ul style="list-style-type: none"> ・学習の振り返りをする。 		◎	<p>態②：火災からくらしを守るために、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとしている。【発表・ワークシート】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分で考えた防災プロジェクトを各家庭に持ち帰り、家族とも共有することで、学習したことを身近な生活と結びつくようにする。